

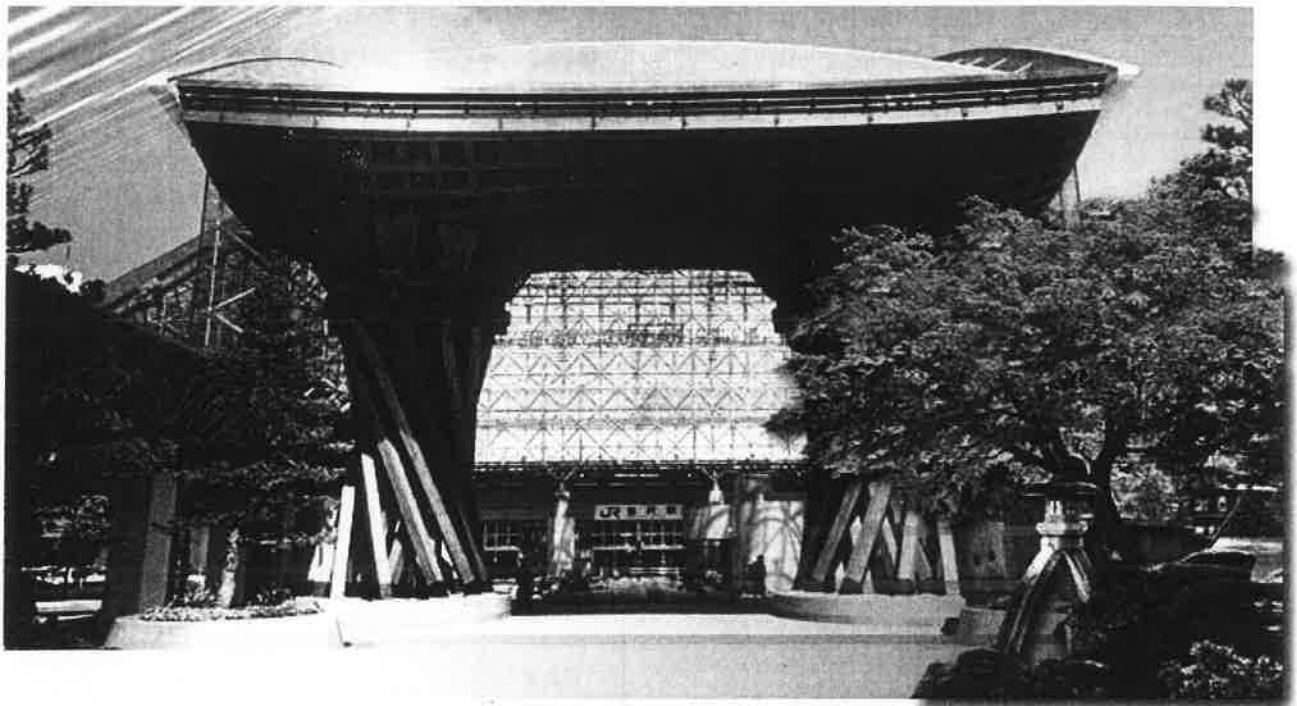
2019年度
みんなねっと北信越ブロック家族会

みんな
ねっと

精神保健福祉研修会 石川大会

テーマ

「本人の自律に向けた 地域生活支援の確立を」
～安心して幸福に暮らせる 共生社会の実現を～



開催日 2019年10月22日(火・祝)

会場 石川県金沢市 石川県立音楽堂 (B1F 交流ホール) JR 金沢駅東口直ぐ

懇親会 ANA クラウンプラザホテル金沢 (石川県立音楽堂となり)

参加費 ■家族・一般 3,000 円 ■当事者・学生 1,000 円 ■懇親会費 7,000 円

主催：公益社団法人 全国精神保健福祉会連合会 (みんなねっと)
石川県精神障害者家族会連合会 (いしかれん)

共催：NPO 法人 富山県精神保健福祉家族連合会
NPO 法人 新潟県精神障害者家族会連合会
NPO 法人 長野県精神保健福祉会連合会
福井県精神保健福祉家族会連合会

大会に関するお問い合わせ

大会事務局：「いしかれん」 〒920-8201
金沢市敦月東2丁目6 こころの健康センター内
TEL 090-2835-4576(橋本) FAX 076-238-5762

お申込みに関するお問い合わせ

JTBビジネスネットワーク 中部MICEセンター
TEL 052-446-5099 FAX 052-446-7358
Eメール cub_mice@jbn.jtb.jp

みんなねっと北信越ブロック家族会 石川大会プログラム

9:30 受付 石川県立音楽堂 B1F「交流ホール」

10:30 開会式
石川県知事 谷本 正憲
金沢市長 山野 之義 ほか

11:00 基調講演
「精神障害者のための医療と福祉サービスはこれでよいのか」
講師 松原病院理事長・石川県精神保健福祉協会会長 松原 三郎 氏

11:50 昼食

13:30 シンポジウム「家族・家族会と地域生活支援」
○コーディネーター 石川県こころの健康センター所長 角田 雅彦 氏
○助言者 松原 三郎 氏
○シンポジスト（話題提供） 富山県・新潟県・石川県

15:00 休憩

15:20 シンポジウム「私達の求める家族支援」
○コーディネーター 角田 雅彦 氏
○助言者 松原 三郎 氏
○シンポジスト（話題提供） 長野県・福井県・石川県

16:50 閉会式
○次回開催県挨拶（富山県）
○閉会挨拶 ～17:20

17:30 懇親会 ～19:30

- 会場内でのご飲食はできませんのでご了承下さい。当日数に限りがございますが飲食スペースをご提供いたします。その他金沢駅周辺の飲食店等をご利用ください。
- 金沢市内での宿泊（1泊）、別途承ります。「開催案内パンフレット」にある②「参加申込書（宿泊あり用）」にてお申込み下さい。
- お申込み期間 2019年5月22日（水）～9月30日（月）
※10月1日以降のお申し込みの場合は、参加費、懇親会費は当日会場でのお支払いとなります。



JTBビジネスネットワーク 中部MICEセンター 行



① 参加申込書（宿泊なし用） FAX 052-446-7358
Eメール cub_mice@jbn.jtb.jp

県名	県	連絡先：「参加確認証」「請求書」等の送付先			
所属団体		住所	〒 (所属団体・自宅)		
ふりがな 代表申込者		TEL			
		FAX			
参加費 家族、医療・支援者、一般 3,000円 当事者、学生 1,000円 懇親会 7,000円					
JTB NO.	ふりがな 氏名	性別	年齢	家族、医療・支援者、 一般、当事者、学生	懇親会
(例)	いしかわ いちろう 石川 一郎	男	60	家族	○

※個人情報保護の観点から、FAXでご送付いただく際は番号の押し間違いに注意いただき、送信後にはお手数ですが、お電話にて着信の確認をお願いいたします。TEL (052) 446-5099 JTBビジネスネットワーク中部MICEセンター

2019年度 みんなねっと北信越ブロック家族会 精神保健福祉研修会 石川大会要項

趣 旨

地域包括ケアシステムが準備されつつある中で、みんなネットは(2017)平成29年度日本財団補助事業として「精神障がい者の自立した地域生活の推進と 家族が安心して生活できるための 効果的な家族支援等の在り方に関する全国調査」を実施しました。その結果、「重度」であっても74.9%の人が地域で生活していることが明らかになりました。該当者のうち入院中は4人に一人にすぎず、多くの人は通院しながら地域生活を送っていることが分かりました。また、障害者総合支援法による障害福祉サービス事業の利用では、「どれも利用していない」が39.8%という結果となり、これが自立度の高さなのか社会的無支援や孤立、引きこもり等と読み取るべきなのか? 福祉サービス利用促進に向けた支援策と家族丸ごと支援の在り方について等、精神保健福祉のこれから進むべき道と地域生活支援について論議し、深めてまいりたいと考えます。

テーマ 「本人の自律に向けた 地域生活支援の確立を」
～安心して幸福に暮らせる 共生社会の実現を～

主 催 公益社団法人 全国精神保健福祉会連合会 (みんなねっと)
石川県精神障害者家族会連合会 (いしかれん)

共 催 NPO 法人 富山県精神保健福祉家族連合会
NPO 法人 新潟県精神障害者家族会連合会
NPO 法人 長野県精神保健福祉会連合会
福井県精神保健福祉家族会連合会

後 援 石川県 金沢市 ほか . . . (別紙)

協 賛 病院 クリニック 会社 法人 事業所等広告協賛団体

開催場所 石川県立音楽堂 B1F 交流ホール
〒920-0856 金沢市昭和町 20-1

TEL 076-232-8111 FAX 076-232-8101

開催日 平成31年10月22日(火)

受付開始 9:30～ 開会式 10:30～ 基調講演 11:00～ シンポジウム①13:30～

シンポジウム②15:20～ 閉会式 16:50 懇親会 17:30～ (於) ANA クラウンプラザ
ホテル金沢 (19:30 終了予定)

大会実行委員会 事務局

石川県精神障害者家族会連合会 (いしかれん)

〒920-8201 石川県金沢市鞍月東2丁目6番地

石川県こころの健康センター内

TEL 090-2835-4576 (橋本) FAX 076-238-5762

Email: ishikaren@outlook.jp

お申込みに関するお問い合わせ

JTB ビジネスネットワーク中部 MICE センター

TEL 052-446-5099 FAX 052-446-7358 Eメール cub_mice@jbn.jtb.jp

基調講演

精神障害者のための医療と福祉サービスはこれでよいのか

松原病院理事長・石川県精神保健福祉協会会長

松原 三郎 氏

これまでの精神保健医療福祉施策の流れを振り返ってみると、(1)「精神保健医療福祉の改革ビジョン」で「入院医療中心から地域生活中心へ」と施策目標が明確化され、入院医療では病床の機能分化をもとに病床削減が進められるようになった。(2)精神医療も地域医療計画の五疾病五事業の中に入り、第7次医療計画(平成30年)では「多様な精神疾患等に対応できる医療体制」を構築するために、個々の精神科医療機関の治療機能が公表されるようになった。(3)平成30年には「精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの構築」が示され、精神障害者が地域の一員として、安心して自分らしい暮らしができるように、医療、障害福祉・介護、社会参加、住まい、地域の助け合い、教育などが包括的に確保されることが目標となった。

上記のように、精神障害者のための医療と福祉サービスは徐々に整備されてきたが、果たして、地域で生活する精神障害者への支援は十分な状況にあるのだろうか。未だに精神障害者が利用する医療・福祉サービスの内容には、他の障害との間に格差がある。精神障害者のための法整備は、他の障害に比べて遅れ遅れで整備されてきており、精神障害者が障害者として地域社会の中で十分に認知されていない状況にあることを感じる

各種サービスが精神障害者にとって不十分な状況にあることを具体的に示したい。

- ① 経済的に苦しい：障害者年金は徐々に減額され、生活保護費においても見直しが行われている。他方では、物価上昇や消費税の増額などのために、地域で生活している精神障害者の経済的な状況はますます悪くなってきている。
- ② 医療サービスが利用できない：通院医療費は自立支援医療で上限が管理されているが、高血圧・糖尿病など精神科以外の薬は3割の自己負担。そのために、内科的な治療は悪化しても受診しない。ましてや、身体疾患による入院治療など論外である。他の2障害と同様に精神障害者にも(手帳2級以上)医療費助成制度が必要である。
- ③ アウトリーチ事業は「精神科在宅者支援」に模様替えしたが、その内容では、医師の訪問回数が少なく、期間も6ヶ月に限定されているなど改善の余地がある。
- ④ 居住施設が十分でない：単身アパート、グループホームであっても、訪問看護や居宅介護を利用すれば、かなり重症例でも地域の中で過ごすことが出来る。しかし、24時間にわたってケアが提供できる居住施設は少なく、夜間・休日のケアが必要な例は、入院に頼らざるを得ない。精神障害者においては障害程度区分の判定が他の障害者に比較して軽く出てしまうために、各種福祉サービスの利用が進まない現状がある。親亡き後も、安心して任せられる支援チームや居住施設の整備が望まれる。